

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成20年10月9日

## 【評価実施概要】

事業所番号	3071500247
法人名	有限会社メディカルサービス有田
事業所名	グループホームゆりのき苑
所在地	和歌山県有田市千田403-1 (電話) 0737-85-3977

評価機関名	社会福祉法人 和歌山県社会福祉協議会		
所在地	和歌山県和歌山市手平2-1-2		
訪問調査日	平成20年9月20日	評価確定日	平成20年10月9日

## 【情報提供票より】(20年8月25日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成16年8月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	18 人	常勤 10人, 非常勤 6人, 常勤換算 7.3人	

### (2) 建物概要

建物構造	鉄骨造り		
	2 階建て	1 階 ~	2 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	円
敷 金	有( 円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		1,000円

### (4) 利用者の概要(8月25日現在)

利用者人数	18 名	男性	3 名	女性	15 名
要介護1	3 名	要介護2	3 名		
要介護3	9 名	要介護4	3 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 85 歳	最低	74 歳	最高	98 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	楠本内科医院 ・ 栗原整形外科 ・ 石垣歯科
---------	------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

住宅街の中程に位置し、開放された玄関や道に向かって備え付けているベンチは立ち寄りやすく、親しみの持てる雰囲気である。「地域にとけ込むグループホーム」を目指して日々取り組んでおり、開設以来4年を経過する中で着実にその成果を上げている。地域や自治会の中においても積極的に係われる部分を担っていこうとする姿勢で、利用者と共に活動を開始している。常に歯切れの良い方言が飛び交い、その会話を利用者自身が何よりも楽しんでいるという雰囲気が感じられる。体験学習で来訪した中学生が家事等手伝った時の感想文に「やっていたなぜか楽しかった」と書かれていた。この一文が全てを表現していると思われる。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価で指摘を受けていた家族等への報告の中で、職員の異動についてもたよりの中にさりげなく盛り込んで、全ての家族に伝える事が出来る様、改善されている。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価は日々の実践を見直す好機との認識の下、職員全員で協議の上まとめあげた。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議には民生委員や地区長・市役所担当職員の参加を得ており、家族の代表も毎回交代で参加している。事業所の取り組み状況等について報告する中で、様々な議案を検討して貰える貴重な機会となっている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	家族等には来訪時や電話をかけた時等に積極的に意見を出して貰える様、働きかけている。又、運営推進会議には家族代表として毎回交代で出席して貰っており、より多くの意見を出して貰える様に配慮し、それを運営に反映させている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	自治会に加入し清掃活動等地域の行事には積極的に参加しており、毎年夏祭りを開催し近隣者の参加も年毎に多くなっている。今年度より新たな取り組みとして、地域の子供見守り隊に加わり散歩を兼ねて参加している。又、小・中・高校生との交流の機会も多くあり、利用者の楽しみの一つになっている。

## 2. 評価結果（詳細）

（  部分は重点項目です ）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスの意義を十分に理解し、地域との関係性を重視する中で、その一員として一人ひとりの生活を継続できる様にと事業所独自の理念をつくりあげている。		
	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	基本理念については、管理者・職員共に十分に理解し共有しており、日々積極的に理念の実践に取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入し清掃活動等地域の行事には積極的に参加しており、毎年夏祭りを開催し近隣者の参加も年毎に多くなっている。今年度より新たな取り組みとして、地域の子供見守り隊に加わり散歩を兼ねて参加している。又、小・中・高校生との交流の機会も多くあり、利用者の楽しみの一つになっている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者・職員共に自己評価・外部評価の意義を十分に理解しており、改善に向けた取り組みも積極的になされている。		
	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議には民生委員や地区長・市役所担当職員等の参加を得ており、家族の代表も毎回交代で参加している。事業所の取り組み状況等について報告する中で、積極的な意見や地域の情報提供等もありサービスの向上に活かしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村担当者とは常に連携を図っており、共にサービスの質の向上に取り組んでいる。今回、新たに担当となった職員の職場体験を受け入れ、さらに理解を深めて貰う機会となった。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	毎月家族宛のたよりを発行しており、個々に暮らしぶりや健康状態等書き入れている。職員の異動についても送別会の写真を載せたり、新入職員には馴染んで貰える様写真入りで紹介したりとさりげなく知らせている。又、預かり金の出納明細等は定期的及び個々に合わせた報告を行っている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族等には来訪時や電話をかけた時等に積極的に意見を出して貰える様働きかけている。又、運営推進会議には家族代表として交代で出席して貰っており、より多くの意見を出して貰える様に配慮し、運営に反映させている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の離職等は最小限に抑える様努めている。交代に際しては利用者が心細い思いをしない様、敢えて新入職員の紹介の方を強調して早く馴染んで貰える様配慮している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員は段階に応じた研修の機会を与えられており、受講内容については全員に伝達出来ている。又、内部研修についても随時開催しレベルアップが図られている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	県グループホーム連絡会に参加しており、交流や相互実習の機会がある。又、近隣事業者間でのネットワークも出来ており情報交換を行いサービスの質の向上に活かしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用する場合は家族と利用者に見学して貰っており、職員や他の利用者との交流の中で徐々に雰囲気慣れて貰い安心して利用出来る様工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者と共に過ごす中で利用者の得意分野において教えてもらう事も多くある。利用者職員は「仲良く喧嘩する」事としており、真剣に向き合う関わりの中で喜怒哀楽を共にしている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者の表情や言動等を十分に観察する中で把握に努め、職員全員で共有する事により、一人ひとりの思いや意向を洩れなく把握し、その人らしく暮らし続けられる様支援している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人の希望や家族の意向・関係者の意見等取り入れ、カンファレンスの中で利用者の状況を確認した上で介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の期間に応じて見直しを行った上で、職員の気付きや情報及び生活上の課題に関連した利用者の訴えや発言等を記録し活用するシステムをとっており、状態に変化が見られた場合等は迅速に見直しを行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	有田南病院と医療連携体制の契約を結んでおり十分な医療体制が整えられている。又、外泊支援や通院・特別な外出等柔軟に支援している。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及び家族等の希望するかかりつけ医を優先して受診出来る様支援しており、積極的に連携を図る中で適切な医療が受けられる様支援している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	契約時には重度化した場合や終末期の対応について説明し理解を得ると共に、意向を確認している。実際に重度化した場合には医師の指示を仰ぎながら全員で話し合いを重ね、方針を共有し、支援している。又、職員の医療知識を高める為に看護師を講師として内部研修を実施している。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねる様な言動は見られない。又、記録等の個人情報についても保管等取り扱いは厳重になされている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりのペースを大切に、希望に沿った生活が出来る様に支援している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	メニューを考え、食材を買いに出かけ、準備や食事・片付け等々一連の流れを楽しんでおり、一人ひとりの隠されていた力を見い出し、発揮して貰える機会となっている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	夜勤帯以外はいつでも入浴可能で、職員との会話も弾む中、草津節などの歌体操も取り入れる等楽しめる様支援している。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	花作りや裁縫・料理等一人ひとりの特技や趣味を活かして生活の中で役割を見い出している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	子供見守り隊としての散歩、近隣スーパー等への買い物など日常的に外出の機会を持っており、花見や外食、地域の行事参加など特別な外出についても個々の希望に沿って支援している。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	管理者・職員共に鍵をかける事の弊害を十分に理解しており、玄関は早朝から就寝時まで開放している。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年1回消防・民生委員・近隣者等の協力を得て利用者と共に避難訓練を実施している。毎回時間設定を変えて行っており昼夜を問わず避難出来る様話し合いの機会も重ねて持っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの食事摂取量や水分量については、把握した上で過不足なく摂れる様支援している。ミキサー食・きざみ食等調理方法についても個々に対応している。栄養バランスについては、1日30品目を目安に配慮しており定期的に主治医の指導を受けて栄養状態を確認している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間等の共用スペースは家庭的な落ち着いた雰囲気、窓からの陽光もカーテンを通して程良い明るさとなっている。窓外の樹木の緑や、所々に飾られている季節の花が潤いを添えており、居心地良く過ごせる空間となっている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者の意向に沿って使い慣れた物や好みの物を備え、居心地良く過ごせる様工夫している。		